京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

特別廣告

出張中に付年末年始の禮を缺く
明治四十四年一月元旦
有吉忠一

民團議員改選に就

梶原末太郎氏談

御社では近頃民團議員改選に就て豫選投票をやられて居ますが新顔も見へるやうですな今回は半數改選でしやうか十名位でもやうか議員側では十名位の方が當を得てるやうに申しますが私も贊成です議員候補者として公然名乘りを上げたものは未だ東部にはありませんが近々續出になりませう今回は隨分激烈な競爭があるだらうと察せられます私の意見と申しましても何れ追て發表いたしますが何しろ此度の改選に立つ候補者は今迄のやうな單に民團居留地といふものとは違ひますから餘程愼重の態度を以て立たねばならぬと思ひます龍山の方でも大に運動してるやうですが十五名も出すといふのは無理な話です私の意見として一例を申しますれば民團の借錢を少くして基礎を固めねばならぬといふことです近頃內地から資產家が渡來しましての話を聞きまするに本町通りは丸で値打ちが無い樣なことを云ひます市街の位置が偏僻ですから止むを得ませぬが而し第一に改修の必要は何人も認むる處と思ひます選擧方法と申しても當地では買收などは餘り見受けませんから大したことはありますまい兎に角有爲の人物が出て欲しいものです當しても事業の發展を期するには民團と新聞とが相倚り相俟つて行かねばならぬと思ふ申すまでも無く新聞は社會の輿論を引き起てすものですから其の立脚地は正々堂々でなければいかぬ近來は在野新聞と申しても御社一つですから仲々骨が折ませう御社新聞の豫選投票の候補者も大分多いやうですが謹被れと云はずに新進有爲の人は民團の爲めに是非出てほしい而し出ても出ねでも世評に上りますからね、、、まあ爾五年も民團が運營して事業をやらねば從來やりかけたものも成果を納ると云ふ譯です今度は各候補者共應未流儀にやつてつまらぬ運動はしないだろうと思ひます兎に角やる以上は堂々と陣を張つて互に政見の發表をして輿論に訴へるが至當のことでまたそうして貰いたいですね前總選擧で失敗しましたが是で御免を蒙ひたい云々

昨年度の徵税成績

昨年度の徵税が成績佳良なりとのことは既に報導したるが本年一月一日付の現任にて報告濟の分を擧れば左の如し尤も江原道は凶作の爲め豫算額の半に達せざれども其他は何れも豫期以上の收入を得たりと云ふ

道名	配付豫算額	收入十二月末日現在	收入步合
忠清北道	三一九、〇三一	三三三、二三七	一〇、四
忠清南道	六四二、七一四	六五〇、五一〇	一〇、一
全羅南道	八七三、一四一	九〇一、六八六	一〇、三
慶尚北道	七三〇、〇三四	八二三、八七五	一一、三
慶尚南道	六八三、四五五	七一四、八六五	一〇、四
黄海道	五九八、五六四	六一三、六〇一	一〇、二
江原道	一七一、一〇四	八〇、三三三	四、六
咸鏡南道	一八四、六九四	一七九、五八二	九、七

甘藷栽培の勸誘

大邱府は本年度に於て部內一般鮮人側に甘藷栽培の有益なるを示す爲め現今各面に示達し適當の地所を撰ばしめつゝあるが一方進麗菓申し勸業模範場より之が種子の分與方を交渉中なりと傳へらる

昨年の砂金買收額

平壤 韓國銀行支店に於て取扱ひたる昨年中に於ける右買收額は四百七十四貫八百七十一匁四分六厘此代金百八十一萬六千二百九十七圓七十一錢同輸出額四百八十一貫四百二十八匁六分此代金百八十四萬三千八百八圓四十二錢同年上半期に於ける買收額は百八十六貫百八十九匁八分九厘此代金七十一万九千八百二十二圓四十九錢同輸出額百八十三貫百三十八匁五厘此代金七十万八千八百五十三圓十錢なるが一昨年中に於ける同買收額は二百二十三貫二十匁一分五厘にして之を昨年中に於けるものに比ずる時は昨年は買收量額に於て二百五十一貫八百五十一匁三分一厘の增加なりと

驛屯土米の競賣

慶尚南道軍威郡にては來る十二日本年驛屯土小作米競賣に附する事なるが詳細の事項は道廳各郡廳に於て問合はすべしと

外事一束

●駐日獨逸大使ムム男眼疾の故を以て辭職す其日獨議會に發せし功不可沒
●同男辭職の原因を外相の椅子を贏ち得難き不平に出づと云ふはアテ推量
●ポツダム宮に於ける獨露兩帝會見の結果露は獨逸の波斯鐵道敷設優先權を認む
●タイムスは此の露獨協約は佛英露三國協商を弱む可とは信ぜずと言明す
●加州上院の一共和黨議員は再日本人土地所有禁止案を提出せりと御苦勞
●北京公論過般資政院を罵つて停止七日罰金十圓を科せらる何處同秋夕暮
●西班牙帝は十日國の豫定にて摩洛哥の自領及附近訪問の爲め出發すると
●露國海軍部は米國に二千六百噸の軍艦を注文せりと
●上海に家賃引下運動起り居留清人一致閉店せりと結局夫れでは自身の損
●長春にも奉天にも哈爾賓にもペスト蔓延の報ありサリとは恐いねッ冷々

俳句

●漢陽吟社發句集（二）
題 冬月、若菜、御慶、初雞、雜煮
花儒園主人一月五日撰

變り行世にもかわらぬ雜煮哉 如眠
新兵の友連て來て雜煮かな 西都
賣初の市に持出す若菜かな 梧竹
初鷄の啼てこそとし成にけり 筑紫
ふたとれば珍味の多き雜煮哉 一者
年頭へて若くいわるゝ御慶哉 筑紫
子を抱て雜煮の膳に向ひけり 半天韓
小供まで衣服正しき御慶かな 都女
最合井戸女同志の御慶かな 筑紫
後追の犬追ひ返す御慶かな 西都
十人の家內揃ふて雜煮哉 儒女
雪掘て一葉つゝむ若菜かな 如郎
康人の和服着て來る御慶かな 同
三婦夫の笑顔揃ふて御慶かな 米水
初雞や高く旗たる米俵 其月
愛らしき稚見や御慶の行儀よく 花水
二郎か太郎をまねる御慶かな 栗竹
かた言を受て御慶の子供かな 梧人
鋼像に雜煮をなぶる夫人かな 同
本に鳥の古巢や多の月 同人
母の膝下りて手を突く御慶哉 半韓
里人の古風すたらぬ御慶かな 同人

山中鹿之助

第五十三回 西尾麟慶演

太「エ、御免下さいまし 古「何んだ 太「私は少々尋ねるものがあつて、此家の主人の許しを受けて家探しをいたします、他の室は皆調べましたが居りません、何うぞ此の室も一應探させて下さいまし 古「何んだと此方を何んと心得る、苟くも武家の一人であるぞ、此へ泊つて此の室を借たる上は一夜だけは我が城廓だ、濫りに町人なぞに家探しされて堪るものか 太「ヘエ左樣で御座ひませうが、何うか御願ひ申します、私が大金を懸けましたものに逃げられましたもので御座ひますから 古「ウム、然らば其方が何か大金をかけたものとは何んなものだ、逃げるとあるからは生てるものだらふが、麝香猫なら香ふ直ぐ判る、雨頭の蛇か南京鼠か、又は麒麟、鳳凰か 太「エ、且那樣そんなものでは御座ひません、遊女に逃げられましたので 古「遊女と云ふのは何んだ 太「御冗談御仰ちやア叶ません、娼妓の事で御座ひます 古「ア、娼妓と云ふが夫が逃げて予の室に居ると申すか 太「イエ左樣では御座ひませんが、念の爲め調べさして下さいまする樣、 古「フム貴樣は事の理合を知らん奴なやア、遊女抔には關係はない殊に難波抔へは出た事のない拙者だ、四民の上に立つ武士が最下等の娼妓なぞを隱して如何する、然しながら夫程に泣で賴むなら勝手に探すが宜ひ若し探して居ない時は如何致す 太「何うも乾居ると思ひますが、若し居りませんければ貴下の御仰る通りになります 古「宜しひ、然らば武士たる者を疑ぐつて家探し致したるは不屆なれば、居ない時には其方の命を取るから左樣心得ろ此室に居れば拙者が預つたるは武士にあるまじき事故切腹いたす……サア早く改めろ、と刀の鯉口を寛げまして太左衛門の跡に附て居る、太左衛門はモウ仕方がない、嫌に此の武士が隱す處を見れば必ず此室に居るに違ひなからう、探し出して切腹させてやらうと思ひまして、先づ第一に戸棚を探しましたが居りません、方々を見廻したが見へません、處が葛羅が二ツありますから、頻りに太左衛門之へ眼を附けて居ります、スルと其一ツの葛羅が少し動きました、之を見るとモウ太左衛門は容赦は致しません、必ず此內に居るであらうと思ひまして、突然夫へ手を掛けやうと致しますので、古猪之助大に驚ひた風にて 古「アヽコレ其葛羅は大切の物入れあれば見せる事は罷りならん 太「左う御仰らずに何うか此の葛羅をお見せ下さいまし 古「馬鹿を申すな、大事の物が入つてあると云ふ事が判らんか、濫りに人に見せられないものが入れてあるのだ、と云つてる內に中で一ツ婦人が嚔を致しました、ます〳〵太左衛門は此の內に浮舟が隱れて居るに相違ないと思ひ 太「何うか此の內をお見せなすつて下さい 古「其中には人間が入つて……居りはしない 太「エ、入つて居りませんでも、何うぞ御見せなすつて…… 古「念の惡い奴だ、然らば見せてやるが若し居なかつたら如何致す 太「此內に居りませんければ、何うにでも御武家樣の御仰る通りになります 古「然らば念の爲め見せて遣はす、と云ふから太左衛門は……ひ葛羅の蓋を取て見ると、紫の傑一人の婦人が袖を顔にあてゝ小さくなつて居ります、太左衛門後を見ると古猪之助が刀の柄に手をかけて居りますから怖々ながら目ると變の紺やうなぞは判りませんが、顔を隱して居るから浮舟に相違あるまいと襟へ手をかけグイと引く 太「ヤイ浮舟こうなれば據あるまい一緒に歸れ、と云ひながら無理に行燈の處へ引て來て顔を見ると、全く見た事のない婦人で御座ひますから大ひに驚き、顔色を變て其儘飛出し、梯子段から眞逆樣に轉り落ちて、跡をも見ずして、トツ〳〵と驅出しました、表に立て居りました若ひものも主人が無宙で逃げ出しましたから、共に其處を逃出しました、大谷古猪之助は此の有樣を見ましてカラ〳〵と打笑ひました、古猪之助は、慶元棚に向ひまして



東京電報（十日着）

▲東宮御出發期 皇太子殿下の本年北陸御巡啓は既報の如くなるが東京御出發は愈々來る七月二十五日と御內定相成其旨北陸道官に御內命を傳へられたる由なるが御巡啓の日數は約三週間の御豫定なりと漏れ承はる

▲御講書始 本日宮中に於て御講書始めを[illegible]はせらる

▲獨太子御著京期 獨逸皇太子殿下には來る四月二十日頃日本へ御著遊ばされ三週間滯在の御豫定なり

▲鳥居阪邸の祝宴 李王世子殿下には九日學習院中學部[illegible]級に御入學に付鳥居阪御邸に於て盛大の祝宴を開催せられたり

▲宗教宣布規則 朝鮮に於ける宗教宣布規則は近日制定發布せらるゝことに決定せり

▲學制案の成行 學制案其の後の成行に就て聞く處によれば同案は目下閣議に附せられ居るが其上は既に昨冬十二月を以て樞密院に諮詢せらるゝ筈なりしも目下同院に於て調查中なるが同院顧問官中反對の意見を有するもの及の一部修正の希望を有するもの[illegible]

●近海航路調查會 九日[illegible]近海航路調查會[illegible]

▲驅逐艦建造 日本海軍にて近く六百噸の驅逐艦二隻を起工することに決定したり[illegible]

●調查會と委員 遞信省は海事檢疫官に關する調查會設立と同時に委員長及委員を下任されたる[illegible]

●鹽税徵收手數料 地方市町村[illegible]百分の四を[illegible]六議會に於て[illegible]同改正案を法律案として提出すべしと

▲昨年度の麥作 昨年度麥收穫高は二千七十九万二千九百六十五石にして之を前年に比し七十[illegible]石減じ平年に比し四[illegible]九十五石增獲したり

▲現金取扱計畫 遞信省[illegible]送金事務及納税の代[illegible]計畫あり

[illegible]來る五月一日[illegible]ドレ[illegible]博覽會に對し內務省[illegible]すべきものは既に調[illegible]製造中なるが尙は三[illegible]すべき衣類は目下[illegible]五百餘種に達し居[illegible]日横濱發航の常陸[illegible]發送し難かるべし

▲通過覺束なし 北米加[illegible]日排日案を提出した[illegible]模樣なり

▲瓦斯營業成績 日韓[illegible]瓦斯供給にて十五萬[illegible]十万五千圓となるが[illegible]前年に比し三割方增收したり

●定例の長官會議 十日午前十時[illegible]に於て定例長官會議[illegible]を始め山縣政務總監[illegible]部長官、明石總長[illegible]松、鈴木、小原の各[illegible]を爲し午後一時散會したり

●漁業法の改正 朝鮮に於ける沿[illegible]きては既報の如[illegible]目下改正考案中な[illegible]さるゝに至るべし

●民籍調查成績 朝鮮[illegible]當局に於て各面[illegible]つゝありしこと既[illegible]中には一定の住[illegible]を極め同里面內に於[illegible]らざるものすらあ[illegible]として進步せざり[illegible]と近き調查成績を[illegible]乃至洞等の事情明[illegible]して各地憲兵分遣[illegible]も其巡回の際必ら[illegible]とゝし成績頗る良

●國勢調查と朝鮮 來[illegible]暴行すべき國勢調[illegible]に及はすべしとの[illegible]政友會員たる內藤[illegible]れつゝあり何れ來る議會の一問題となるべき模樣なるが主唱者は職業其他は兎に角せめて戶口なりとも調查を遂げ度しとの希望なり

●撫順炭の需用額 朝鮮に於ける同炭の需用額は朝鮮鐵道局納炭年六万餘噸にして昨年七月より輸送し本年同期頃迄に終るべく此外小口需用も多少無きに非らざるも其數量を特記する迄に至らず

●客臘中の韓銀成績 客臘中の韓國銀行金融狀況を示せば左の如し

▲金融出納高 [illegible]

▲預金

定期預金	[illegible]
當座預金	[illegible]
小口當座預金	[illegible]
預金公金	[illegible]
諸貯金	[illegible]

▲貸金

定期貸付金	[illegible]
當座貸越金	[illegible]
割引手形	[illegible]

▲爲替受入

送金爲替	[illegible]
代金取立	[illegible]
荷爲替手形	[illegible]

▲爲替拂出

送金爲替	[illegible]
代金取立	[illegible]

●韓國銀行總會 韓銀總會は來る二月二十四日東京銀行集會所に於て開催せらるべしといふ

●貨幣發行高週報 一月一日より七日に至る貨幣發行高左の如し

銀行券總發行平均高	二〇、一一四、〇四三
內正貨準備發行平均高	七、〇二五、七五〇
保證準備發行平均高	一三、〇八八、二九三
硬貨發行高（一月九日現在）	八、二四二、三五〇
內金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
同十圓	五〇〇、〇〇〇
同五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	一、三七二、五〇〇
同二十錢	二、〇一一、〇〇〇
同十錢	[illegible]九〇三、〇〇〇
白銅貨五錢	五七一、七五〇
靑銅貨一錢	三四九、三〇〇
同五厘	八四、八〇〇

●拓殖募債期 興業銀行に於て南滿社債と共に委託を受けたる東洋拓殖會社々債二千万圓募集は都合上滿鐵を先決することゝし更に時機を窺ひ居れるが多分其發表は倫敦金融市場の緩慢期なる三月の頃なるべしと

●中松特許局長入城 農商務特許局長中松盛雄氏は同審查官川久保修吉氏同行にて十日午前九時四十三分着列車にて下仁し出迎の久水府尹と共に市中を視察し同午後二時の列車にて出發入城

●德富猪一郎氏入京 京城日報社監督德富猪一郎氏は九日午後八時十分南大門驛着直ちに西大門外鎗洞の元西署々長官舍跡なる寓居に入られたりと

●司法部の新年宴 來る十四日午後一時より司法部にては新年宴會を兼ね第八回優學會を開催の筈にて目下夫々準備中なるが當日は長官以下部員及裁判、監獄の各會員參集法律問題二三の討議もある由なれば定めて盛會なるべし尙は同會の講議及討議等傍聽希望の者は會長の許を得て入場する事を得べしと云ふ

●村田分隊長招宴 村田第二憲兵隊長は八日自宅に各隊長副官、第二分隊員を招し盛大なる新年宴會を張れり

●憲府顧員の悼辭 京畿道廳京城府廳の高等官宇佐美內務長官夫人の逝去に對し昨日電報にて悼辭を致し且つ香奠として金若干圓を供せり

●工業傳習所生徒募集 朝鮮總督府工業傳習所にては今回第五回生徒募集に付き入所志願書は來る二月五日迄に入學志願書を差出し左記期日に出所試驗に應ずべく但し願書用紙は同所より交付すと

試驗期日　二月七日

試驗科目　體格、國語（飜譯、對話）算術（四則及小數分數）讀漢文

●京城水道問題解決 英國水道會社の經營に係る京城水道が賣却せらるべしとのことは既報の如くなるが其後該交涉は東京に於て澁澤男、竹內綱氏等の仲介者に依り着々進行し今や殆んど確定せる迄に運びたる由にて其代金は二百五十萬圓乃至三百萬圓にて總督府の經營となる筈なるが八日夜入京したる白石博士は竹內氏の女婿に當り居れるより博士の入城は此の用件を帶び來れるものなるべしと傳ふ

●税制調查會 九日午後一時より民團役所樓上に於て居留民團税制調查會を開きたるが中村再造氏の外全部出席し直に税制調查會規程を定め夫より役員の選擧を行ひたるに和田常市氏委員長に主查に海津三雄、田村義次郎、杉山孝平、曾我勉、峯尾助役の五氏當選したるが來る十三日午後一時より主查會を開き調查方針を決定することにして午後四時散會したり

●新計劃委員會 當民團の新事業計劃委員會附托の事業實地調查も大部分結了せるに付き來十三日同委員會を招集し民團當事者より第一回の報告を爲す筈なりと

●新年初頭の民會 當民團は來十四五日頃新年初頭の民會を招集すべき筈なり當日の議題は客冬認可の起債及び兼て申請中の警備費、火葬場設置等の認可に伴ひ更正豫算の決算其他一二件なりと云ふ

●議員選擧投票場內定 來る三十一日民團議員選擧には投票場を一ケ所とすべきや又は數ケ所に設くべきやに就き有志者間に議論百出して決せざりしが民團理事者側に於ては投票場の取締に就き甲乙なからしむるには一局の中央たるべき南大門小學校を以て選擧場に充つべく內定したり

選擧界の表裏

▲東部の候補會 所謂東部とは本町四丁目以東の各町を稱し同選擧區は或る數者が團結すれば何者の力も破壞し能はざるなり而して昨九日釘本氏方に十數名の有志會合し左の八氏を候補に推薦し且つ起つべきを約して散會したり

古城梅溪、關繁太郞、釘本藤次郞、梶原末太郞、石井新、大橋清三郞、淵上貞助、近藤佐五郞

而して他の二名は他派よりの交涉餘地を存し置く事となれりと

▲龍山側との交涉 龍山側[illegible]派の有志は昨紙所報の如く池田長次郞氏を通じて三好一派に提携を求め來りたるが其撰出人員と條件の過大なりし爲め途に破裂せんばかりの勢となり相互共に苦心の態度に在り

▲西部の候補者 西部は群雄割據の狀勢なれば容易に意志の疏通を見る能はず恰かも元龜天正の趣きなり此間に立ちて最も確實を期待せらるゝは三好和三郞氏大村保太氏次いで池田長次郞氏なり然れば此三者を中堅とせるものと更に之に對抗して蹶起すべき野心家とあり曰く深水清氏曰く原勝一氏曰く誰れと一々指顧に遑まあらず

▲明治町と城氏 明治町は實に亂れて麻の如し現も角五百餘の有權者を有する大撰擧區たり故に此地盤に向つて侵入を試みんとするもの僂指に遑あらず之が爲めに同町出身の現議員城六太氏は蹶起となり吾が勢力圈內に對し何等の交涉なく斯かる所業あるは苟くも容赦相成り難しと憤慨し居れり

▲前選擧の教訓 試みに前回選擧の結果を當時の新聞を繙へして之を回顧せんに左の如し

五三七秋吉富太郞	五三三中村再造
四九六山口太兵衞	四八五林田金次郞
四八五菊池謙讓	四四九和田常市
四〇二古城菅堂	三九九前田熊市
三九八梶原末太郞	三八二城六太
三八一釘本藤次郞	四七九關繁太郞
三七〇大村保太	三四六石井新
三三七森勝次	三三三中島司馬之助
三二九菅川廣濟	三二九曾我勉
三二六松永達次郞	三一七田中始一郞

而して瀨戶際にて落選されしは田中常次郞、白木爲二郞、三好和三郞、田村義次郞、增田三穗、進辰馬の諸氏なり外に三票公爵伊藤博文、二票子爵曾禰荒助等の投票ありたり溫故知新の參考にもと茲に揭ぐ

▲官吏側は如何 龍山鐵道局の態度は昨紙風說の儘之を揭載せしが尙ほ聞く處によれば總督府側は全部事つて棄權するに決るべしと觀測さる

▲梅溪氏と本町 古城梅溪氏の態度に就き令兄菅堂氏の談によれば果して起つか如何か弟の事でも些しも知らない併し本町筋で推薦者が大分あるといふから予ーと知るが如く知らざるが如し

▲中村氏の運動振 運動振りを知るは撰擧戰引上最も重要の事たり而して特に巧妙なる人を擧ぐれば中村再造氏は其隨一なるべし則ち氏は自已の配下に對して丁寧に辭を盡して頼み廻はり懇といふまで根氣よく出掛くる是れ誰れにでも出來相にて面かも氏に非ざれば出來得ざる藝當なりと某月旦子は語る

民團議員豫選投票

民團議員豫選投票規定

一、京城民團民會議員適任者と認むる者廿名を有資格者中より選出する事

一、投票用紙は本新報に刷込ある用紙に限る事但し投票人は無記名とす

一、一枚の用紙に認むべき議員適任者の數は五人以內たるべき事

一、投票は本社前の投票函若しくは左の箇所に於ける本社投票函へ投入の事

本町一丁目	青木堂新築場前
本町二丁目	町田文林堂橫
本町四丁目 花月通り	中村時計店橫
本町六丁目 洋服商	灘山支店橫
明治二丁目	日韓印刷會社前
南大門停車場	伊藤組出張所前
龍山新市街 山下町	小杉組出張所前
龍山舊市街 民團役所出張所	會澤事務所前

右の外郵送及び直送の分は從前の通り本社豫選投票掛へ宛らるゝ事

一、締切は明治四十四年一月二十日とす但し日々に於ける投票の結果は日々の紙上に於て公にすべし

一、總開票は締切の當日若は翌日とし其結果は本紙上に公にすべし

一、總開票立會人は追つて決定の上發表すべし

右以外必要の事は追次本紙上に廣告す

（十日締切迄の着票）

中村再造	五百八十六票
和田常市	五百七十九票
山口太兵衞	五百六十七票
釘本藤次郞	五百六十五票
中島司馬之助	五百四十二票
關繁太郞	四百九十三票
三好和三郞	四百八十五票
梶原末太郞	四百七十三票
城六太	四百七十一票
古城梅溪	四百六十五票
秋吉富太郞	四百六十二票
大久保雅彥	四百四十四票
石井新	四百三十六票
田中始一郞	四百十八票
大村保太	四百十二票
菅原大太郞	四百〇一票
皆川廣濟	三百八十三票
田村義二郞	三百七十七票
林田金次郞	三百四十五票
淵上貞介	三百四十一票
大村百藏	三百四十票
原勝一	三百三十六票
兼古禮藏	三百二十四票
深水清	三百二十四票
曾我勉	三百十八票
小林藤右衞門	二百九十七票
進辰馬	二百九十五票
池田長次郞	二百八十一票
執行猪太郞	二百七十九票
伊藤友松	二百六十三票
阪[illegible]敬明	二百四十票
大橋濟三郞	二百三十五票
大坪文吉	百八十一票
國井泉	百六十四票
白木爲次郞	百五十八票
海津三雄	百五十六票

注意

前號に發表せし得點者にて點數の其儘なるものは本日の表に加へず尙本日よりは一百點以下の得點は新候補者以外は不揭載

社告

倭城臺の某出とある七日附匿名の郵書一通本社に到着したり開き見れば中には金一圓と豫選投票に關し何やら判らぬ事を書きある紙片とあり、右は當社の受理すべきものにあらざれば差出人へ返還すべきに付心當りの人は申出らるべし

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　九日の分　乘車客　六〇六　下車客　六六七　乘車賃金　一五五四、八五

▲南大門驛貨物發送高　九日の分　發送　五四噸　到着　四五七噸　貨物賃金　五五六、三五

▲龍山驛の乘降客　九日の分　乘車客　二一四　下車客　一六九　乘車賃金　一九六、〇六

▲龍山驛の貨物發送高　九日の分　發送　九三噸　到着　一二六噸　貨物賃金　三二〇、一七

公人私人

▲藤島宇太（チャイナタイムス記者）入京中の處九日釜山へ

▲大原庄太郞（水產組合副長）同上

▲碩川亭（平壤慈惠醫院長）同上

▲三上利造（醫學士）同上

▲川上多爵樹（營林廠技師）九日[illegible]

▲西村獅子雄（關島總領事館員）[illegible]

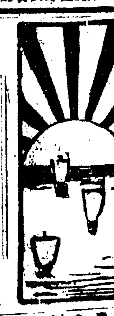
▲武田秀雄（海軍少將）同天眞樓

▲井上一郎（[illegible]日報社員）京城[illegible]

▲長野一郎（京城地方裁判所判事）[illegible]藤餘館

▲治外法權▼

寺內總督は[illegible]者團、領事團等を已に招待し、近[illegible]素團を招宴さるゝソウだが、[illegible]擧げて乾盃を爲すとき乘和して[illegible]治の成功を祈る▲凡そ政治の秘[illegible]心の收攬にあつた、特に北條[illegible]つた如く藩臺の心を收攬するに[illegible]故伊藤公之を知らざるに非ず、[illegible]子之を知らざるに非ず、併かも[illegible]此點に於て成功せざりし所以の[illegible]者が餘に自己本位であつたかも[illegible]憚なく云ば今の寺內總督として其[illegible]の點に於て、曾て兒玉大將が[illegible]餘に多く自慢せる點に於て余[illegible]者などの歡迎すべき人物では[illegible]而るに不思議な事には記者は[illegible]暇の始めより良統監良總督を[illegible]職して居る、思ふに之れ[illegible]他の缺點と相殺して尙餘りあ[illegible]されたからだ▲總督は演說が下[illegible]總督の演說も下手だ、殊に京城の[illegible]めはオツサものなんと來ては[illegible]讓子のライバルに非ずだ、併し[illegible]殉ずる一片の至誠は僅かに有し[illegible]ドウカ此の至誠をしてイツまで[illegible]せたいものだか▲本町筋の街路[illegible]急問題となつて現はれツウだ、[illegible]宜し、賦課金宜し、乃至借金宜[illegible]な場合に因つては借金を質に[illegible]宜し、ドウカ猶豫して街路の改[illegible]實行したいものだ▲東拓の宇佐[illegible]交際費の中から大々的の支出を[illegible]民數百名を御馳走するとの事[illegible]已に御馳走をしたとの事だ、[illegible]村の宇佐川が至誠を缺けるを[illegible]して御馳走などでゴマカサウと[illegible]が大間違だ、天は汝に命ず一日[illegible]現職を去れと▲東拓と云へば[illegible]總監部からだと云つて東拓の記[illegible]聞に出さぬ様にと注文をして[illegible]があつた、オカシイ事だと記者[illegible]總監部の某官に尋ねた、某官[illegible]からは未だ曾つてソンナ注文を[illegible]事はなしと▲民團議員の撰擧[illegible]近づくに從ひ所謂運動屋が[illegible]題は各様だ、併し其筋の注[illegible]の努力とによりアマリ極端には[illegible]いようだ▲民團議員と云へば[illegible]郞が東部の候補者に推された[illegible]他の勸め默し難く初志を[illegible]承諾したソウだ。



活動寫眞 覆面子

十一日朝の南大門驛

颯、冷かなるも、くつきりと晴れた空は嬉しい。構内の天氣豫報掲示板には、北西ノ風曇後小雪、とある。折角の天氣は、馬鹿にするなと云ひたげだ、今日はまた頗る賑やかで一二三の列車は人を以て充たされた、

●貴重品 吉岡豪雄とかいふ長方形の木箱は手荷物扱所の鐵格子の外に立てかけて人目を牽く、東京、仙波の大行李は曇硝子に照り映ゆる、傍らを見れば賃取の小包を揭へた四十五六の婦人が一人寂しさうに立ち居る

●大印半纒の若者 葛原發吉との名刺を載せ積み重ねてある、大カバンを擔ひで來て[illegible]

宣教師コールテス氏は數個のトランクを托して多數の見送人に擁せられて

日本京都

に赴くべく、あゝ風光明媚の日本京都、梅香漲る嵯峨野の夕、師之れを仰ぐの感や如何に、希くは

一路平安なれ

午前九時四分靜かに釜山行列車は去った、(一時十三分)江口と書いた三個のカバンを赤帽に托し後れ馳せに乘り込んだ人を最後として新義州行列車も去った、

●麻生フサと書いた行李を縛の儘にして發送せんとするを見て僕の忠言を容れしかず、漸く

●請取人の注意を喜ぶ、南行列車を送つた構内は二三の驛員と五六の巡査を殘して森閑の氣

●足拔酌婦捉はる

數日前より南大門通鮮人宿に泊り夜間の外は一寸も外出せざる一人を認めて[illegible]

婦人の擧動不審なるより長野岸の兩刑事は注意中の處九日午後十時頃明治町二丁目街路を徘徊せる擧動如何にも不審に付本署に同行取調たるに仲々の莫連女にて且つ本月四日大田警察署所在捜査照會の人物なる事判明せしが今其の申立を聞くに長崎縣東彼杵郡崎針尾村二百十番地北村福太郎長女れせ(二五)とて十四五才の時より郷里を飛び出し福岡縣若松町にて賣春婦となり居りしが昨年五月前借金三十五圓にて釜山牧ノ島町料理屋加藤丑太郎方へ抱へられしが六月十六日の夜和歌山縣那賀郡名手村字穴伏當時釜山牧ノ島町居住石工職名出良之助(三五)と關係を付け深き情合となり遂に八月十三日落籍されしも名出には妻子あるより妻として一戸を構へしが不幸にして兩人共病氣に罹り藤瀬病院へ入院全癒後れせは十月二十三日より大邱料理店魁樓に前借金四十圓にて住込たるが又もや間もなく病氣に罹り入院せしにぞ借金は增加するのみ首も廻らぬ樣になり十一月八日足拔して大田の早間某と稱する口入屋に至り同人の周旋にて公州宮嶋料理屋富之屋中村淺吉方に前借金百圓にて住込しが健康診斷不合格の爲め再び大田に歸り今度は大田の料理屋黑田屋に抱へられしが十二月三十日夜又々足拔して情夫名出良之助と共謀して京城に來り鮮人宿に潜伏中なる事露發したる次第なりと

●酒は百藥の長

酒は百藥の長とは能き金言だ龍山祇町臺屋中村藤吉(三五)同所佐々木嘉一方豐福大吉(一口)長崎縣壹岐郡田川村土木業吉田寅一郎の三名は六日午後八時頃桃山遊廓桃山樓に登樓し遊興の上爭鬪を始め疊障子火鉢等の器物を毀棄し且所持金なき爲め樓主より訴出でられ龍山警察署の御厄介となり寅一郎大吉の兩名は器物毀棄罪として留置せられ他は放免

●車座に女四人

徳島縣人當時壽町三丁目三十八番戸市來のぶ(三一)及同居兵庫縣人今田たき(二五)山口縣人當時新町三丁目角まさ(二八)熊本縣人當時太平町一丁目那須きゑ(二七)の四名は九日午後二時半頃より壽町三丁目市來のぶ方に於て輪座を爲し金錢を賭し花札を以て賭博を爲し勝負を爭ひ居る現場を南部署巡査に檢擧され各科料金五圓に處せらる

●洋服商の奸手段

龍山漢江通三丁目に吉田才次郎(三一)と云ふ洋服店あり原籍は奈良縣奈良市奈良坂町三十八番地なるが同地に開店以來常に店頭に職工とか小僧とかの募集や新服輸入などと大廣告を掲げ其爲め數多き注文者あるも巧みに世人を欺罔し詐僞に類する行爲のみを爲し來りしを豫て憲兵分隊や警察署に於て其奸曲の行爲を屢々說諭せしも改悛するの狀なく頃日終に注文主草川某に告訴せられ憲兵分隊に引致せられ罪狀明白檢事局に送られたり

●即ち間拔け男

如何に新年とは云へ困まつたもの京城壽町一丁目表具屋桂カツ養子源次郎(二五)同家職工阪井清吉(二四)同山口茂(二一)龍山榮町鍋島組員橋本要(三九)の四名は六日夜より桃山一樂樓に登樓し流連の上山口茂一名を殘し他の三名は金策にと立ち出でたるまゝ歸樓せざるを以て終に訴出され龍山警察署に於て取調の上代金を仕拂はしめて說諭放還せられたり

▲珍妙なる新聞紙▼

▲暗闇で讀める新聞 新聞發行所はスペインの國マドリット府で用紙は普通の紙質であるが、印刷インキに燐を含ませてあるので、どんな眞暗な所でも、この新聞をひろげると、活字がキラ〳〵光るので充分判讀する事が出來るのださうな。

▲食べられる新聞 新聞紙が食べられるか莫迦な事をと一槪に云ひ給ふ可らず、正に相違無之食べられる新聞があるから妙だ、と云ふのはメリケン粉を練つて薄く伸ばし、これを紙の代用にするのだ、そして無害保證と云ふインキで印刷したのである、そしてこの新聞は讀んでしまつた上火で燒いて、煎餅のやうにして食べるのだと言ふ、此新聞は呼號して曰く、本紙は精神と肉體とに對し、同時に滋養分を與ふ、と

▲恩給を與れる新聞 發行所は佛國巴里、新聞の名はヒヤンエ、トルと云ふ、この新聞は讀者に對し、四十年間恩給を支拂ひ、おまけにその讀者の埋葬費用まで受持つと云ふ、頗る結構な條件付きだつたが惜しい事には僅か一ケ月斗りで廢刊した、

●醉漢の刄物三昧

仁川花房町二丁目龜田梅藏方岡西力太郎(二九)の室に九日夜十時頃一人の醉漢一尺餘の短刀を持ち侵入し暴れを爲さんとするより警官出張取調べたるに此奴は同龜田方に同宿し居る廣島縣生れ中居正一(三九)と云ふ頗る酒癖の良からぬ者にて當夜も何處にてか一杯飲み岡西の處に來りたる折岡西も一杯傾け居たりしかば中居に杯を差し酌をなせしに其酒が冷へ居りしとかにて立腹し自分の室より右短刀を持來りて前記の次第と判り懇々說諭を加へて放還せられたり

●ハイカラで喧嘩

仁川花町二丁目蝸甫の李花がハイカラに頭髮を結ひしを其夫の某が見てハイカラは氣に喰はぬから朝鮮髷に結び直せと言ひしに最早日本になつたのだからハイカラが好いよいやと言ひ爭ひ遂に摑み合を爲し居るより警官出張取鎭め說諭放還

●物騷な湯屋

龍山漢江通三丁目湯屋月保盆次方に於て入浴者の一人南山下町中瀬直太郎(二九)は白縮緬兵兒帶一本を竊取せらる物騷な湯屋もあればあるものなり

●浮浪者拘留

東京府芝區西久保町四十六番地田中金之助は一定の住所職業なく諸所を徘徊し浮浪者として南部署に引致され拘留十日に處せらる

●滑つて遺失

仁川松坂町二丁目小野フサは九日午後九時頃本町三丁目より松坂町自宅へ歸る途中にて炒管一本を遺失し届け出づ

●明治町の新年宴會

明治町衛生組合には毎年一月十五日を期し新年宴會を開く例なりしが本年は都合に依り去る七日に繰上げ開催し役員の改選を爲せし處開票の結果左の通り當選せり

組長小川龜太郎、副長物部壽藏、副長羽多野道三郎、副長小川重太郎、會計唐川立造

其他評議員貳拾名を選擧し了りて民會議員候補者選定に就て適任者を採擇せし爲め詮衡委員六名を選擧して散會す

●龍山醫展期成會新年宴

十日午後六時より和歌の家にて新年宴會を開催し席上餘興映畫等もありて盛會を極め散會せり

●旅館組合新年宴

十日午後五時より旭町三丁目開進亭にて新年宴會を開き校書其間に斡旋し頗る盛會なりし

●演藝だより

●壽座 非常に人氣タップりたる市川鯉三郎片岡當十郎一座十一日の替り狂言は柳生實記二番題しにて鯉三郎の柳生又十郎當十郎の大久保彥左衛門

●浪花館 東京落語曲手踊米枝一座にて開演初日より大入續きの御禮として木戸場代共二十錢均一なり

●歌舞伎座 同座に於ける島十郎一座十一日の替り狂言は前狂言一谷嫩軍記中狂言陸奧白萩老後政岡切狂言隅田川妓女客性なり

▲兩頭の怪兒

上海城內薛家庭里の向ふ側に住する王姓なるもの先頃一人の男の子を產み落せしが世にも珍らしき兩頭の畸形兒にて一方の頭は頗ぶる黑く一方の頭は甚だ白く手足は尋常にて双兒の附着せしものとも見えず生後數日間無事に生長せしが姑某は斯る畸形兒の生長を見るが不憫なりと思ふよりも寧ろ我家に緣起惡しとて無慈悲にも樓上に抱き行き窓より之を擲落して絕息せしめ人知れず之を埋葬したりとぞ

▲平民文庫▼

▲御尋ね申すも實に恥かしき事ながら恥を云はねば分らん事女郎や藝者には實意がありましようか(平莫迦生)▲可愛相に彼れだつて人の子ですよ(小僧)▲京城の賣出の抽籤番號は抽籤者や當籤者には公平に見ゆるか分らんけれどたいきん等はあの番號が氣に喰はぬ(無趣味)▲桃山遊廓はあんな設備でも矢張り遊廓の中かい太平町や長谷川町が却て氣が利いて居ら—(豚小屋)▲金線や銀筋入りの灰殼役人共は此の位の寒さに辟易して事務は其處のけストーブに斗り我等從骨間を見よ須らく吾等に倣ひ毛皮などの高價の品は直に賣却して南極探險後援會にでも義捐す可しだ(從骨黨)▲仁川花房町の坂は近頃の寒さの爲め一面に凍りて居るので通行の男女が皆なスベリて困難をするか中村運送店や菊屋旅館等にて公衆の爲めに灰でも撒布して便宜を與へてはどうですか(困却生)▲仁川松坂町の豆腐屋では每晚の樣に夫婦喧嘩をするので近所隣りでは大迷惑です少し靜かにして下さい(注意生)▲僕は先日電報を打つのに花町の郵便局に行つたが窓口に係の者がなかつた局長さん水位は置いて頂戴な(願上生)▲仁川敷島の第一朝日樓では二月より强見世にして萬事改良を加へ大勉强大奮張をするそうだ其のせいか近頃は大分別嬪揃ひになつた(鼻下長生)▲れ役人は意張るのが商賣なのかも仁川海岸の海に因める役人の意張方は又た特別だ少し注意せぬと素破拔くぞ(一商人)▲役所に九月一日に納めて物品代金が未だ總督府から下らぬので閉口だ二十圓や三十圓なら兎に角四百圓からの金を半ケ年も延されては誠に融通上商人は困る察しの上一日も早く願升(商人)▲果して事實ならばしよう當局にて事實調査ありたし(係)▲〇〇府の稻川君よ早く現位地を辭せ危險は君の身邊に迫れりもし申開くべきであらば稻川の名を以て新報の投書欄に辯解せよ(一有志者)▲野郎間君の言ふ處尤もなり熱し梅の家の內でもれ職の五郎裾は昔は名古屋五二會館の監視取締を拜命して居た事も有る其れに男會生ゴロの內にて腕をナラシタ事も有り漢文ナンカでも相當に讀ひよ(十郎)

●一月十一日(舊十二月十一日)九紫辛巳佛滅定△一白總じて障害失錯起り易き日とす婚議協約開店起業見合せ

日々運勢

●二黑 仕官就職柔順誠合婚議に好適其他たるべし色情痴情の破れを戒しむ△二黑手控への事△三碧 家庭上の煩累あり其他康事進んで吉△四綠 惟奨勵誘に陷ゆる勿れ他は會心の日進んで吉△五黃 衛生に留意し虛浮潤色を戒しむ其他吉△六白 事旅行見合せの事共同連盟協約婚談に尤も忌む建築金屬の業には吉△七赤 盜害橫領防ぐべし總じて不如意の日新事見合せの事△八白 婚談謀議協約合同の事遂行に吉外誘に陷ゆる勿れ△九紫 諸事謹愼の事婚議金屬の事に尤も忌む旅行見合せたるべし(本町五丁目三一館判斷)



제597호 1911. 1. 11.

●諸公債諸株券現物賣買 迅速確實に御取扱可申候

兼業 既製洋服御小賣 官衙御用達

京城本町三丁目 大坂野村銀行代理店

田中友吉商店 電話九三九

TRADE MARK 感冒特効劑 複方 アンチヘブリン

四季のかぜ はやりかぜ ねつ痛一切 づつうの良薬

發賣元 京都市三条柳馬場角 川杉資善堂

藥價 二日分金拾錢 五日分金廿錢

代理店 京城南大門通二丁目 新井藥房 電話九〇四 振替口座京城一〇六八番

瓦斯コークス販賣 京城黃金町高等演藝館隣 酒井組 電話二一四九番

●貸金 旭町二ノ一五 別府 有給者にて確秘密に低利融通可申候 高橋

質 京城旭町一丁目度支部官舍向 御成路突當 墻見質店

質 京城黃金町二丁目三番元県洋服店跡 確實の擔保低利貸金融通す 並古着賣買 宮永金藏 京城支店

薩摩流割烹 す津祢 南山町一丁目 電話千五百二番

開店廣告

今般水道用具一式販賣致候に付ては各位の御便利を計り取付工事並修繕等精々勉强致し御用命の節は遠近を不問直に參上可仕候間多少に不拘御注文の程奉願上候

水道用具 附屬金物一式 ゴム並布ホース 京城明治町一丁目五十七番戶 旭商會 豊田由松

文章講義錄

一人々々教授 才に應じて特殊の指導教授をなす。講義懇切、生徒の文章を嚴密に添削し其人の文學を… 學費低廉添削無料

此際入學者には大特典あり 好機を逸せず申込あれ ▲見本つき規則無料進呈 申込次第

▲本院講師 大町文學士 久保田文學士 生田文學士 內海文學士 長原文學士 桑村文學士 中波文學士 沼波文學士 小栗風葉氏 德田秋聲氏 金子薰園氏

▲卒業一ケ年 ▲講義錄毎月發行 一回大冊 ▲講義錄は總つき假名つき ▲難解の質問は自由 ▲文章雜誌毎月無料進呈 ▲學費は低廉 ▲文章添削は親切なり

東京麹町飯田町三の廿五 日本文章學院 電話番町二二二番

醇良清酒



京城明治町 大塚京城支店 (電話四百一番)

世帯道具は何でも有り升

外ニ宅ノ酪澤手ヨリ 白米、和洋ローソク 上白シメ油 ㊂醤油ハ特約品

右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候

日用雜貨卸問屋 京城本町六丁目 西崎嘉七本店 電話二百十番 電略(ニカ)又ニ 振替貯金口座朝鮮七番

一日にして効能は現る



價 三日分廿錢 七日分四十錢 十四日分七十五錢

本舖 日本大阪 高橋盛大堂 代理店 京城本町五 木下大盛堂 同南大門三 新井藥房 到る所の藥店に販賣す

廣告

一佛國レロイ社製壁紙各種
一英國ランカスター無地リノリューム
一ボンメル蝶番各種

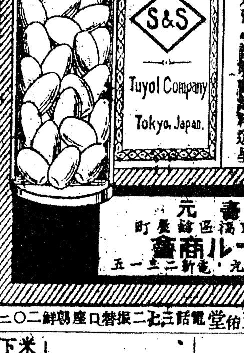
右多數貯藏致居候間御注文願上候

京城エル、ロンドン商會 明治四十四年一月 吉岡信太郎 電話九九五番

ツヨール 淋病內服新藥

●世界の醫藥界に誇るべき一大發見!!
●連續服用するもサンタル油バルサム劑の如く胃腸を害せず

○本品は淋病消渇の內服新藥として醫學士が多年の研究により始めて發見せられたるものにして、加ふるに下山、慶松兩藥學博士、朝比奈藥學士、岩川醫學士等の化學的試驗及び▲田中醫學博士、笹川醫學士、加藤、山田兩ドクトル等の臨床的實驗の結果▲本品は泌尿器疾患特に淋毒性膀胱炎尿道炎、消渇其の他一般急性及び慢性淋病に卓絶なる効驗を有する現代に於て理想的の治淋內服新藥ぞ確定せらる。▲本品は原液五百瓦、二百五十瓦、百瓦、二十五瓦入膠囊入百粒、五十粒、三十粒入の七種有り ▲全國到處の藥店に販賣 ▲說明書無料發呈



發賣元 東京市京橋區鎗屋町 ツヨール商會 振替一九七二九・電新二三一五

特約店 京城本町一丁目 山岸天佑堂 電話三七二 振替口座朝鮮二〇二

廣告

一電車開通
一發電所落成
一給仕數名至急入用

統監府醫院線去十二月廿日より開通致し乘車賃金三錢と相定め申候 且龍山發電所增築中の處今回全部落成致候に付電燈御入用の御方は此際陸續御申込相成度候 尙一月十一日より一月卅一日迄屋內外引込料二割減にて施行可仕候 十四歲以上十八歲以下の男子にして希望の者は自筆履歷書持參の上至急當會社鐵路事務所へ來社相成度候也

明治四十四年一月六日 日韓瓦斯電氣株式會社

來れり 寫眞撮影の時季

寫眞幻燈器械 藥品材料一切 旅行用娛樂用營業用

直輸入 京城本町四丁目 織居寫眞機部 電話二六二 振替貯金一三二

和洋小物各種 新案 丸一たびもた 堅牢で廉價

京城本町一丁目 丸一 菜原商店 電話四八三番 丸山出張店 京城本町五丁目鎗屋入口

銀行一般業務精々御便利に取扱申候

資本金三百萬圓 積立金及繰越金九十六萬圓

京城南大門通(電話四二〇) 株式會社 十八銀行 京城支店

本店 長崎市築町 支店出張所 朝鮮 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、鎭南浦、群山、馬山 日本 熊本、大阪、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本朝鮮樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢二厘) 長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

土地建物鑛山株券賣買 小林藤商店

貸家管理の囑托を受く 一百町餘の果樹園適地買入たし 田、畓、山、金銀、黑鉛鑛買たし 商品其他擔保に貸金す 市外田畓山林未墾地鑛山賣物あり 市內家宅賣物數多あり

京城明治町三丁目 電話六五五番

入院隨意 京城西小門通六番戶 菅醫院 電話一三一五番

●內科小兒科 ●外科花柳病 入院隨意 京城旭町三丁目 十全病院 電話七三七番

長崎流 ○しるこ ○茶碗むし ○むし壽し (出前も御望に應じ可申候) 南山町二丁目(南山湯上隣) 松ぞの (電話一一八五番)

韓國銀行

爲替取引先 日本 東京、京都、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新、大阪、大阪西區、松山、廣島、長崎、 朝鮮 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙里院、博川、寧邊、義州、咸興、 淸國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、 其他外國 漢口、上海、香港、桑港、紐育、倫敦、巴里、里昂、

當銀行は金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候

支店出張所 大阪、仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、

株式會社第一銀行 京城支店 京城南山町三丁目

資本金一千萬圓 積立金五百七十五萬圓 明治六年設立

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

電話 一一一番 六一一番 振替貯金口座朝鮮一一番

其他和洋酒、米、麥、石炭、みかん、洋釀、瓦、煉瓦、明太魚、鰊、昆布、罐詰、千香、其他乾物類一式

雜貨部 京城本町六丁目 藤富國太郎本店
貿易部 京城南大門市場 藤富國出張所
木炭部 京城永樂町二丁目 藤富國出張所 電話三〇八番

特約店

米國スタンダード製松印石油 下總國野田醬油 仁川日本醬油株式會社製造印醤油 下總國万上印味淋 尾張名古屋印酢 丹浦根炭及日本木炭 英米煙草會社製品各種 神戶株式會社布引礦泉所製馬蹄印 豐後湯の花精製品(入浴用) 湯の花菓子(茶用)瓶入各種 灘銘酒櫻正宗山邑釀造 堅牢無比の國譽足袋

義齒術全般 京城南山町二丁目(伊藤組南に入る) 小倉三郎 電話

營業科目 官衙御用 和洋紙類 印刷材料 印刷インキ 和洋書籍 謄寫版 [illegible]

藤田合名會社 [illegible]

本社 京城明治町二丁目 出張所 [illegible]